

事前評価チェックシート

計画の名称： 平内町の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ・下水道事業計画による事業認可計画面積241haのうち平成29年度末で約153haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしています。これからは整備促進と並行し、供用開始済みの地区における快適な生活環境を提供すべく、安全で安定した運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性） ・下水道事業は生活に密接に結び付いた事業であり安全で地域住民の快適な生活環境を確保するためにも安定した運営が必須となっている。安全かつ安定的なライフラインとして機能させるためにも継続的に管渠点検調査及び処理施設・管渠改築更新を実施することにより一層の安全確保ができる。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 ・計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 ・定量的指標は、当町の整備済み処理施設・整備済み管渠延長に対する点検調査、計画策定、改築更新未実施延長であり事業進捗状況を示すに適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 ・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 ・計画的な点検・調査及び改築（更新・長寿命化対策）を行うことにより、施設の持続的な機能確保を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性） ・調査前に対象地区住民に対し調査についての説明チラシを配布し、理解・協力を得ながら事業を遂行する。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） ・地域住民からは安全なライフラインの維持・運営を望む声も多い。管渠点検調査、処理施設・管渠改築更新を継続的に行うことで未然に被害を防ぐことができ防災・安全対策に寄与することができる。	○